

# 市政トピックス



ウェブサイト  
でも公開中

## 株式会社島屋ホールディングス と株式会社島屋の新事業所 建設協定調印式



▲記念撮影の様子（左から市長、山口県産業労働部藤村企業立地統括監、吉貴代表取締役）

調印にあたって、市長は「新たな事業所を建設されることは、若い世代の地元就職を後押しするとともに、「ずっと元気な山口」の実現に向けた原動力にもなるものと大いに期待している」とあいさつしました。株式会社島屋ホールディングスおよび株式会社島屋の吉貴隆人代表取締役は「鋳銭司第二団地は、県内全体への物流の利便性が高い。生産能力を上げ、さらなる販路や事業の拡大を図っていきたい」と述べられました。

操業開始は、令和9年10月を予定しており、新たに10人の地元雇用を見込んでおられます。



▲大野さんからの技術指導の様子

開催に先立ち、市長は「世界のトップアスリートである大野将平さんから技だけでなく、諦めない心、努力する心、礼儀を重んじる心を一緒に学んでほしい」とあいさつしました。

参加した子どもたちは、大野さんから直接アドバイスをもらいながら、一生懸命技を練習し、楽しんでいました。大野さんは「今後も山口市に帰り、柔道を通して皆さんと一緒に汗をかいいていきたい」と子どもたちにエールを送りました。



▲記念撮影の様子（左から市長、木村さん）

## スポーツ次世代育成事業 「大野将平ジユニア柔道教室」

1月24日（土）、維新大戻アリーナ武

道館において、スポーツ次世代育成事業「大野将平ジユニア柔道教室」を山口市柔道協会のご協力のもと開催しました。

子日本代表として出場され、その優勝報告のため、1月26日（月）に市長を表敬訪問されました。

木村さんは「小中学生時代に地元の阿東地域で野球の技術だけでなく社会に出ても恥ずかしくないよう指導をしていただき。今後もワールドカップ優勝を目指して頑張っていきたい」と述べられました。

市長は「侍ジャパン女子日本代表の主軸として活躍され、見事優勝されたことを大変うれしく思う。将来、本市から女子プロ野球選手が生まれることを期待し、市をあげて応援することを期待し、市をあげて応援するので、これからも頑張ってほしい」と、今後の活躍への期待を述べました。

農者の育成や農業者への支援を行なう拠点として、イチゴ、「ピーマン」やまのいも、水稻栽培の研修や支援等を行っています。

また、毎年5月と11月に開催される「ふれあい体験デー」は、イチゴとやまのいもの収穫と植え付け等を通じて、都市部と農山村の交流を促進し、食と農業のつながりを体感できる場となっています。市内でつくられた農産物を地元で消費する地産地消の魅力は、新鮮で安全な食材を手に入れられることに加えて、農地や景観が守られることがあります。また、消費者の「おいしい」は、地域内の生産と消費の好循環を生み、次世代の農業の担い手を育てることにつながります。

山口市の恵みを、ぜひ日々の食卓に取り入れてみませんか。

問 広報広聴課 083-934-2753

## 侍ジャパン女子日本代表 木村睦実さんが市長表敬訪問

阿東徳佐出身で大阪体育大学4年

の木村睦実さんが、昨年10月～11月に中国で開催された第4回BFA女子野球アジアカップに侍ジャパン女

子日本代表として出場され、その優勝報告のため、1月26日（月）に市長を表敬訪問されました。

木村さんは「小中学生時代に地元の阿東地域で野球の技術だけでなく社会に出ても恥ずかしくないよう指導をしていただき。今後もワールドカップ優勝を目指して頑張っていきたい」と述べられました。

農者の育成や農業者への支援を行なう拠点として、イチゴ、「ピーマン」やまのいも、水稻栽培の研修や支援等を行っています。

## 表紙の写真 山口の“おいしい”循環

春の陽光を浴びて輝く、真っ赤なイチゴ。徳地チャレンジ農場では、「かおりの」「さちのか」の2品種を出荷しています。



▲大切に育てられたイチゴが、一つ一つ丁寧に収穫されています。